

# 自治会 あつぎ 第67号

## 目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな文化

平成27年3月15日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会  
 編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会  
 電話046(225)2101

ネットは

## 心ふれあう地域づくりをめざして

厚木市自治会連絡協議会  
 会長 小瀬村 泰久



厚木市自治会連絡協議会 小瀬村会長

早春の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろから、自治会活動に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。自治会では、地域の誰もが笑顔にあふれ、安心して暮らすことができるよう、行政と連携・協力し、明るく住みやすいまちづくりに取り組んでいます。

### 地域のふれあいを大切に

東日本大震災以降、地域の絆、ふれあいの大切さが今まで以上に認識されています。自治会では、日頃からお祭りや運動会などの行事を通じて、地域のふれあいを深めています。

厚木市では、市制60周年記

念日となる平成27年2月1日に、「あつぎ市民ふれあい都市宣言」が宣言されました。宣言には、行動指針となる三つの柱（ふれあいの家庭づくり、ふれあいのまちづくり）が定められています。人と人の「ふれあい」や「つながり」は、自治会活動の根幹を成すものです。これからも地域でのふれあいを深め、みんなで支え合う地域づくりを目指してまいります。

### 地域の子どもは、

### 地域で育てよう

現在、それぞれの地域において、年齢の異なる子どもたちが交流し、ふれあいを深める子ども会活動が行われています。子どもたちの自主性を尊重したこのような活動は、必ず子どもたちの健全育成につながるものと確信しております。明るい地域には、明るい子どもが育ちます。私たち自治会がしっかりと地域を作って、大切な厚木の宝である子ども

たちを守ってまいりたいと思いますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

### 自治会活動に参加しよう

自治会活動は、地域の皆様の活動に支えられています。よりよい地域を作るため、多くの皆様に参加していただくことが必要です。

厚木市自治会連絡協議会では、新たに住民となった方々を中心に自治会活動の意義や楽しさを伝え、自治会への加入を呼びかけています。

まだ自治会に加入していない方は、この機会に加入してみませんか。加入に当たっては、お住まいの地域の自治会長や組長、班長にご連絡ください。分からない場合は、厚木市市民協働推進課（TEL 225局2101）にお問い合わせください。皆様のご参加を心からお待ちしています。



子どもたちの成長を地域で見守りましょう

## 平成26年度役員紹介

会長	小瀬村 泰久 (南毛利)
副会長	前場 政行 (玉川)
会 計	尾崎 常雄 (荻野)
庶 務	神保 忠男 (森の里)
	山村 勝美 (睦合南)
	鈴木 暁司 (厚木北)
	三田 哲夫 (厚木南)
	川崎 勲 (依知北)
	渡邊 勝三 (依知南)
	大澤 雄次 (睦合北)
	池永 和夫 (睦合西)
	山田 充 (小 鮎)
	渡邊 征一 (南毛利南)
	内田 幸喜 (相 川)
	佐々木安雄 (緑ヶ丘)
	三木 智之 (厚木北)
	足立原 将 (厚木南)
	松野 勝 (依知北)
	倉田 光政 (依知南)
	山口 末夫 (睦合北)
	又村 孝夫 (睦合南)
	栗原 富栄 (睦合西)
	古道 弘 (荻野)
	毛利 昇 (荻野)
	松本 亨一 (小 鮎)
	前田 満 (南毛利)
	佐藤 孝博 (南毛利)
	内井 嘉巳 (南毛利南)
	宮内 一男 (玉川)
	永嶋 信一 (森の里)
	菊池 美明 (相 川)
	笹山 恵一郎 (緑ヶ丘)



### コミュニケーションを大切に

厚木南地区  
厚木岡田団地自治会  
会長 徳安 政彦

厚木岡田団地自治会は、当団地の完成とともに設立され、今年で36年を迎えました。厚木南地区の南端にあり、厚木インターチェンジにも近く、交通の便が良い地域です。

当団地は、5階建て12棟の総戸数280戸で、自治会加入率は、90%（約250世帯）と高く、約600人の自治会員で構成されています。

近年、当団地においても少子高齢化が進み、65歳以上の高齢者が37%を占め、小学生以下の子どもは7%であり、ともに市内の平均を大きく上回っている状況であり、自治会活動の内容や運営方法を見直す時



保育園の園庭を借りて行う餅つき大会

期にきていると思われれます。

そのような中で、当自治会では、今年度から5月に、バザー、喫茶、ポップコーンコーナーを設けた「初夏のつどい」や毎年12月には、隣接する保育園の園庭をお借りして、つきたての餅や豚汁を振る舞い、子どもには、綿菓子を配布する「餅つき大会」を開催し、子どもからお年寄りまで集える地域のコミュニティづくりに取り組んでいます。

団地の特性から居住者の生活時間帯が異なり、顔を合わせる機会が少ない人もいるため、このようなイベントを通して、円滑なコミュニケーションが図られるようにするとともに、災害時への備えともしたいと考えています。

### 参加できる活動を 目指して

依知北地区  
下川入第二自治会  
会長 志水 武志

下川入第二自治会は、依知北地区内にあり、中津川と善明川に挟まれ、全域が田園風景の残る地域であります。

全世帯が加入しています。調整区域ですので世帯数の増加がみられないのに加



大盛況だった春の桜まつり

え、高齢化と少子化のため、殆どの地域でいろいろな課題を抱えていると思えますが、わが自治会も同様です。地域自治会活動は骨の折れる状態です。年2回の桜並木の草刈り、年末美化清掃には参加協力をお願いしていますが、自主防災活動、地区運動会、地区ふれあい夏祭り等多様化の中で協力者集めに苦心しています。

特筆すべき点は、しばらく行っていないかった桜保存会との共催の桜まつりの実行委員会を役員以外の組織とし、計画、実行を行ったことによりマンネリ化しつつあった桜まつりが盛大に行われ、大盛況でした。

今後も、町内の和づくり等を進め、住んでよかったといわれる町にしていきたいと思っております。

### 住んで良かった!!と 実感できる地域づくりを

睦台南地区  
市場自治会  
会長 加藤進一郎

妻田市場自治会は、地域の中央に妻田神社があり、氏神様に守られた350所帯のコミュニティです。妻田神社の祭礼では、睦台南地区12自治会のうち6自治会の山車が神社に集結します。そこでは、各自治会の子どもや大人が太鼓を叩き、お互いの技を競い合う壮大な場面を見ることが出来ます。

日頃は、自治会の基本方針である「会員相互が共に協力しあつて築く安心安全なまちづくり」をテーマに次のような活動を行っています。

防犯では、青パト隊が昼夜地域を巡回し、犯罪の無い安全な地域づくりにまい進しております。また、小学生の下课時間に合わせ、見回り隊が子どもたちの安全下校に取り組みんでいます（子どもたちと友達になり「お帰り」と声をかけると、「ただいま」と返ってくる可愛い声に、これからの成長が楽しみと話す隊員）。次に、地域の環境美化活動では、睦合東中学校、妻田小

学校の生徒さんにも参加していただき、年3回の美化清掃を実施しております。普段でも会員が自発的に落ちているごみの収集、公園の草刈り、植栽など明るく清潔な地域づくりに取り組んでいます。その結果、公園で安心して楽しく遊ぶ子どもたちや散歩するお年寄りの姿が多く見受けられます。

近年、我が自治会でも高齢化が進んでいます。そこで、「限りある人生を健康で明るく楽しく」をモットーに、ミニデイを通じて高齢者が卓球、バス旅行、カラオケ等積極的に活動しております。

その他、さくら祭り、盆踊り、どんど焼き等古くから有る伝統を守り伝え、連携を深め合いながら多くの行事を執り行い、会員相互の親睦を図っております。



妻田神社の祭礼の様子



### 創立40周年記念行事

荻野地区

まつかげ台自治会

会長 古道 弘

平成26年にまつかげ台自治会は、創立40周年を迎えました。自治会創立から平成の初めまでは、上下水道の維持管理、住宅地内へのバスの乗り入れの実現、住民相互の親睦融和を図るための活動など、自治会が中心となつて実現してきました。諸先輩達の苦勞の跡を後世に残すとともに自治会の存在意義を知ってもらうために記念誌にまとめ、周年を祝う行事を行うことにより、住民相互の融和と絆を一層強固にしたいとの思いで、平成24年秋から準備を始めました。

平成26年6月に厚木市長、荻野地区自治連会長、公民館長、近隣自治会長にもご出席いただき、式典を挙行了しました。続いて7月には、バザーを実施しました。会場では、近くにながら久方ぶりに顔を合わせた人々のお喋りの輪ができていました。

まず、記念誌編集に着手しました。最も苦勞したのは、「ふるさと年表」の作成でした。編集担当の並々ならぬ苦勞の甲斐あって、記念誌の出来はよく、各方面からお褒めの言葉を頂戴

8月には、納涼祭会場に舞台を設置して、多くの方に合唱や盆踊りなどに参加していただきました。納涼祭の締めとして打ち上げた花火は、間近に見上げる迫力に見物者から大きな歓声が上がりました。

10月の末に2日間にわたる文化祭を挙行して一連の記念行事を終えました。文化祭は、27年ぶりの開催でしたが、予想を超える作品が寄せられ、多くの来場者で賑わい、記念の年の集大成となりました。

一連の行事により、住民相互の融和と絆を一層強固にすることができたものと思っております。



創立40周年記念行事の様子

### 住民参加で安全で安心して暮らせる地域づくり

荻野地区

新宿自治会

会長 小林 良平

荻野地区南部に位置する新宿



土手の草刈りに参加した自治会ボランティアの皆さん

は、大山街道の宿場として栄え、自然環境に恵まれた美しい地域、風水害の発生する虞の少ない地域と考えます。現在の会員数は、法人を含め770余で、加入率を高める取り組みを進めています。当地域は、近時、大型の商業施設の進出等により、生活の利便性が高まる一方、交通渋滞、交通事故、空巢等の被害も増えています。

活動は、新宿ふるさとまつり、荻野大運動会、昼夜の防犯パトロール、防災訓練、美化清掃、だんご焼き、通学路歩道の整備等多岐にわたり、傘下の各種団体・役員と連携し、この地域の安心安全の地域ガバナンスに取り組んでいます。

子どもの安全の見守りは、新宿交差点、睦合中学校入り口等でボランティアの方と自治会役員とで登下校の交通立哨を実施しています。また、スポーツ広

場を活用して今夏休みから子どもものラジオ体操を始めました。昨年からグラウンド・ゴルフをスタートさせ、また、市の健康道路として整備された荻野川

土手の草刈りは、地域ボランティアの協力を得て、皆さんが気持ちよく利用できるよう清掃に取り組みました。

今後、高齢化社会が進み、高齢者支援、災害時支援、活動の担い手の確保等、生き方が多様化する今日、地域住民のボランティア活動の理解をいただき、自治会活動を推進させていただきます。

### 久々の総合優勝

小鮎地区

千頭中下自治会

会長 江藤 孜

市民健康まつり第56回小鮎地区運動会が晴天の秋空の下、盛大に開催され、見事総合優勝を勝ち得ました。

キックボールリレー(男女)、フラフープリレー(小学生以上)、大玉転がし(60歳以上)の得点種目でいきなりグループ別の一位になり、好調な出足です。その後も大縄みんなでジャンプ、障害物リレー、二人三脚リレー(男女)も上位に入る成績と、圧倒的優位で午前最後の得点種目となる大綱引きを迎え

ました。午後の決勝にさえ進められれば、優勝は決定します。号砲が鳴り、暫くはお互いに譲らず両者の顔だけが紅潮するばかりでしたが、やがてじわりじわりと相手の陣地へミリ単位で引き込まれ、惜しい一回戦敗退です。午前の集計時点で10点上の差をつけてほぼ楽勝ムードです。

午後は、苦手の玉入れ競争(女子)。しかし、これも善戦し、上位に。最後の地区別リレーもダントツのグループ一位でアンカーへ、余裕の優勝!その瞬間にバトンの落下。結果、4点の僅差での優勝でした。

例年、一週間前の祭礼と自治会の二大イベントが重なる10月ですが、優勝の榮譽を着に、まつりとの合同反省会で深めた相互の絆を基に先輩諸氏が築いた明るい健康的な地域づくりの推進に努めたいと思います。



お互いに譲らない大綱引き



### 魅力ある自治会活動を 目指して

小鮎地区  
旗月見台自治会  
会長 三浦 安夫

小鮎地区旗月見台自治会は、厚木市の北西に位置し、本厚木駅から約4キロメートル離れ、昔は夏になると子どもたちは、小鮎川で泳げたそうで、近くに大山と白山が見える地区です。

昭和48年まで、現在の会員が属していた簗谷自治会から、昭和49年に分離独立し、現在の自治会が誕生しました。当時は会員数も少なく、また、集会場も無く、公共施設ができるまでは、野外での会議や会長宅で開催と先輩達



里見台まる山公園清掃参加者

は苦勞していましたが、4年前にようやく、自前の自治会館ができるまで、会議は公共施設を借りて行い、スポーツ大会の打上げは近くの公園にシートを敷いて反省会を行っていました。

昨年で自治会創立40年を迎えることができ、会員数も年月を重ねる毎に、300世帯近くを数えるようになりました。

今年度は、安心・安全セーフコミュニティ推進地区の指定を受け、子どもと高齢者を交通事故から守る活動を推進すると共に、自治会内の防犯パトロール及び月1回交代で道路のごみ拾いと、大小二つの公園のごみ拾いと花壇の除草、粗大ごみの不法投棄が無いかのパトロールを実施しています。

### 地域との「絆」を 大切に

南毛利地区  
戸室三丁目自治会  
会長 前田 満

戸室地区自治会連絡協議会には、上村と下村があり、戸室一丁目自治会から戸室小田急住宅自治会まで合計7自治会で活動をしています。



スポーツフェスティバル大会の様子

地域事業の一環として、昨年11月2日に戸室小学校の校庭で、戸室スポーツフェスティバル大会を開催しました。心配されていた天気は、最高のスポーツ日和となり、昨年より多くの方が来られ、競技に参加されました。

厚木高校のダンスドリル部による演技が恒例になっており、12名の生徒の皆さんには、演技の後に、単位自治会対抗リレー等の競技種目に参加していただき、とても盛り上がりました。これがスポーツを通じた交流の輪を広げることにつながり、地域の皆さんと楽しく一日を過ごすことができました。特に一番楽しかった競技は、高齢者や子どもたちと生徒の皆さんで行った玉

入れやパン食い競争です。来年も行事を通じて、明るく元気なまちづくりを進めるとともに、今後は、自治会活動の活性化と地域住民の方々の交流を深め、より一層のかたい「絆」で、結ばれることを願っております。



### 南毛利地区の 自治会活動の取り組み

南毛利地区  
ネオステージ本厚木自治会  
会長 高木 敦司

ネオステージ本厚木自治会は、結成17年目を迎えた南毛利地区にある150戸で構成されるマンション単独の自治組織です。

南毛利地区の自治会活動には、近隣マンションのエステ、スクエア本厚木とともに参加し、南毛利地区体育祭には共同でエステ・ネオ・チームを出しています。地区の防犯活動、防災訓練、および清掃活動を実施して、児童館の催し

にも積極的に参加しています。

もっとも大きなイベントは、夏祭りです。例年8月に沖原くすのき公園で開催しています。年々参加者も増えて、焼きそば、焼き鳥や子ども向けのゲームなどを自治会員が協力して、その準備から実施まで参加し、住民交流の場として定着しています。

当初、比較的若い世帯が多かったマンションも、高齢化が進んでいて、今後、高齢世帯への敬老事業の充実や災害避難対策が喫緊の課題となっています。地区の民生委員・児童委員のご協力を得ながら、今後も南毛利地区の一員として地域活動に関わっていきたく考えています。



住民交流の場として定着した夏祭り